

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 7 年 3 月 21 日(2025.3.21)

【公開番号】特開 2023-156579(P2023-156579A)
【公開日】令和 5 年 10 月 25 日(2023.10.25)
【年通号数】公開公報(特許)2023-201
【出願番号】特願 2022-66009(P2022-66009)
【国際特許分類】
A 63 F 7/02(2006.01)
【FI】
A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】
【提出日】令和 7 年 3 月 12 日(2025.3.12)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

第 1 識別情報と、第 2 識別情報とを含む識別情報の可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する所定演出を実行可能であり、

前記所定演出は、割れ前兆画像を表示した後に、該割れ前兆画像に対応した破片画像を表示する演出であり、

前記所定演出において前記破片画像が表示された後の背景画像として、第 1 所定背景画像と、該第 1 所定背景画像よりも前記有利状態に制御される期待度が高いことを示唆する第 2 所定背景画像と、を含む複数の背景画像のうちの何れかの背景画像を表示可能であり

30

、
前記所定演出において前記破片画像を表示する前に、複数の態様のオブジェクト画像のうちの何れかの態様の前記オブジェクト画像を表示可能であり、

前記オブジェクト画像の態様に応じて、前記所定演出において前記破片画像が表示された後に何れの背景画像が表示されるかを示唆可能であり、

一の演出モードにおいて、第 1 背景画像と第 2 背景画像とを含む複数種類の背景画像を切り替えて表示可能であり、

背景画像を前記第 1 背景画像から前記第 2 背景画像へ切り替えるときに、前記第 1 背景画像の透明度を漸次高めていく背景フェードアウト表示を実行するとともに、前記第 2 背景画像の透明度を漸次低くしていく背景フェードイン表示を実行可能であり、

40

前記識別情報の可変表示が行われる領域は少なくとも、第 1 領域と、第 2 領域と、を含み、

前記識別情報の可変表示を開始するときに、前記第 1 領域において前記第 1 識別情報の可変表示を開始するとともに、前記第 2 領域において前記第 2 識別情報の可変表示を開始し、

前記第 1 識別情報の可変表示を開始するときに前記第 1 領域において前記第 1 識別情報の透明度を漸次高める第 1 識別情報フェードアウト表示を実行可能であるとともに、前記第 2 識別情報の可変表示を開始するときに前記第 2 領域において前記第 2 識別情報の透明度を漸次高める第 2 識別情報フェードアウト表示を実行可能であり、

前記識別情報の可変表示を終了するときに、前記第 1 領域において前記第 1 識別情報の

50

可変表示を減速するとともに、前記第 2 領域において前記第 2 識別情報の可変表示を減速し、

前記第 1 識別情報の可変表示を減速するときに前記第 1 領域において前記第 1 識別情報の透明度を漸次低くする第 1 識別情報フェードイン表示を実行可能であるとともに、前記第 2 識別情報の可変表示を減速するときに前記第 2 領域において前記第 2 識別情報の透明度を漸次低くする第 2 識別情報フェードイン表示を実行可能であり、

少なくとも前記第 1 識別情報フェードイン表示または前記第 2 識別情報フェードイン表示のいずれかと前記背景フェードイン表示とを共通の時期に実行可能であり、

前記第 1 識別情報フェードイン表示の実行期間と前記第 2 識別情報フェードイン表示の実行期間とは共通であり、

前記第 1 識別情報フェードイン表示の実行期間および前記第 2 識別情報フェードイン表示の実行期間よりも前記背景フェードイン表示の実行期間の方が長く、

前記識別情報は、キャラクタ表示を含み、

前記識別情報の可変表示として、スクロールアクションと、前記スクロールアクションの開始前に前記キャラクタ表示が動作する開始前アクションと、前記スクロールアクションの停止時における停止時アクションと、前記停止時アクション後に前記キャラクタ表示が動作する停止後アクションと、を実行可能であり、

前記開始前アクションと前記停止後アクションとで、前記キャラクタ表示の態様が異なる、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A) 第 1 識別情報と、第 2 識別情報とを含む識別情報の可変表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する所定演出を実行可能であり、

前記所定演出は、割れ前兆画像を表示した後に、該割れ前兆画像に対応した破片画像を表示する演出であり、

前記所定演出において前記破片画像が表示された後の背景画像として、第 1 所定背景画像と、該第 1 所定背景画像よりも前記有利状態に制御される期待度が高いことを示唆する第 2 所定背景画像と、を含む複数の背景画像のうちの何れかの背景画像を表示可能であり、

前記所定演出において前記破片画像を表示する前に、複数の態様のオブジェクト画像のうちの何れかの態様の前記オブジェクト画像を表示可能であり、

前記オブジェクト画像の態様に応じて、前記所定演出において前記破片画像が表示された後に何れの背景画像が表示されるかを示唆可能であり、

一の演出モードにおいて、第 1 背景画像と第 2 背景画像とを含む複数種類の背景画像を切り替えて表示可能であり、

背景画像を前記第 1 背景画像から前記第 2 背景画像へ切り替えるときに、前記第 1 背景画像の透明度を漸次高めていく背景フェードアウト表示を実行するとともに、前記第 2 背景画像の透明度を漸次低くしていく背景フェードイン表示を実行可能であり、

前記識別情報の可変表示が行われる領域は少なくとも、第 1 領域と、第 2 領域と、を含み、

前記識別情報の可変表示を開始するときに、前記第 1 領域において前記第 1 識別情報の可変表示を開始するとともに、前記第 2 領域において前記第 2 識別情報の可変表示を開始し、

前記第 1 識別情報の可変表示を開始するときに前記第 1 領域において前記第 1 識別情報

10

20

30

40

50

の透明度を漸次高める第 1 識別情報フェードアウト表示を実行可能であるとともに、前記第 2 識別情報の可変表示を開始するときに前記第 2 領域において前記第 2 識別情報の透明度を漸次高める第 2 識別情報フェードアウト表示を実行可能であり、

前記識別情報の可変表示を終了するときに、前記第 1 領域において前記第 1 識別情報の可変表示を減速するとともに、前記第 2 領域において前記第 2 識別情報の可変表示を減速し、

前記第 1 識別情報の可変表示を減速するときに前記第 1 領域において前記第 1 識別情報の透明度を漸次低くする第 1 識別情報フェードイン表示を実行可能であるとともに、前記第 2 識別情報の可変表示を減速するときに前記第 2 領域において前記第 2 識別情報の透明度を漸次低くする第 2 識別情報フェードイン表示を実行可能であり、

10

少なくとも前記第 1 識別情報フェードイン表示または前記第 2 識別情報フェードイン表示のいずれかと前記背景フェードイン表示とを共通の時期に実行可能であり、

前記第 1 識別情報フェードイン表示の実行期間と前記第 2 識別情報フェードイン表示の実行期間とは共通であり、

前記第 1 識別情報フェードイン表示の実行期間および前記第 2 識別情報フェードイン表示の実行期間よりも前記背景フェードイン表示の実行期間の方が長く、

前記識別情報は、キャラクタ表示を含み、

前記識別情報の可変表示として、スクロールアクションと、前記スクロールアクションの開始前に前記キャラクタ表示が動作する開始前アクションと、前記スクロールアクションの停止時における停止時アクションと、前記停止時アクション後に前記キャラクタ表示が動作する停止後アクションと、を実行可能であり、

20

前記開始前アクションと前記停止後アクションとで、前記キャラクタ表示の態様が異なる、

ことを特徴とする。

30

40

50